

タイトル：京都府立中丹支援学校の生徒がイタリアご出身者とお茶で国際交流しました！

きょうとまるごとお茶の博覧会実行委員会事務局です。

今回は、令和7年7月11日（金）に行われた、京都府立中丹支援学校高等部5、6組の皆さんとイタリア文化会館-大阪のアンドレア・ラオス館長、山本さんによる交流の様子をレポートします！🍵

始めに生徒の皆さんと、ラオス館長による自己紹介。
手作りの名札を付けて、お名前と好きなこと、
好きな食べ物を発表した後、交流に当たっての一言を発表します。

個性あふれる自己紹介のおかげで緊張がほぐれ、
柔らかな雰囲気の中、交流がスタートしました。

次に、中丹地域に残る大江山を舞台とした鬼伝説の発表です。
生徒の皆さんによる劇を動画で見せていただきました。

教室には鬼の掛軸も飾られていたのですが、鬼の絵はもちろん、
和紙や表装まで中丹支援学校の皆さんが制作したそうです！



お茶会では、4月に生徒の皆さんへお茶の指導に来てくださった
赤井貴恵先生もご招待し、お茶とお菓子をふるまいます。

手作りの白玉と羊羹、そして生徒自ら点てたお茶を
ゲストの皆さんに召し上がっていただきました。

堂々としたお点前やお運びは、
4月の授業から何度も練習を重ねてきた ^{たまもの}賜です🍵



感想を尋ねられたラオス館長は、
「お菓子もお茶もとてもおいしかった」と、大満足のご様子！

生徒の皆さんの成長が感じられ、学校の先生方、赤井先生、
そして事務局もジーンときたお茶会でした🍵



おもてなしの次は、ラオス館長と山本さんによるイタリア文化の紹介です。
イタリアでは、お茶ではなくエスプレッソコーヒーが広く親しまれているそうです。

ラオス館長愛用のエスプレッソマシンを見せていただきながら、
エスプレッソの作り方をお話しいただきました。☺

また、エスプレッソマシンの匂いを嗅いでみた皆さんは
「苦そう!」「いいにおい!」と様々な反応でした。



生徒の皆さんからの質問コーナーではこんな質問が。

「日本に来て一番驚いたことは?」

「イタリアにヒーローはいますか?」

「イタリア語で『かっこいい』は何と言うの?」

ラオス館長は、イラストを見せながら一つ一つの質問に
答えてくださいました。



最後にみんなで記念写真を撮影し、和やかに交流が終了しました!

ご参加いただいた皆さま、お疲れ様でした!

素敵な交流にお邪魔させていただきありがとうございました☺

